

ユーシン

# 景況レポート

Number.122  
(2024.10~12月期)

結城信用金庫

■このレポートは、当金庫のお客様231企業(回答企業229企業)について、景気の現状と今後の見通しを調査したものです。

調査結果の  
あらまし



概況(10月▶12月期)

## 業況は、製造業・卸売業・小売業・サービス業・建設業で改善

茨城県西地域の中小企業の業況判断D.Iは△3.9と、2024年7月~9月期(前期)の調査より+5.4ポイント上昇し、景況感はやや改善しました。業種別では、不動産業で前期比△5.6ポイント低下しましたが、製造業で前期比+4.4ポイント、卸売業で同比+16.1ポイント、小売業で同比+2.8ポイント、サービス業で同比+0.1ポイント、建設業で同比+11.0ポイントの改善となりました。項目別では、売上額判断D.Iが1.7と前期比+10.1ポイント、収益判断D.Iは△10.0と同比+7.2ポイントと、ともに改善しました。

また、前年同期比売上額判断D.Iが△3.6で前期比+0.3ポイント、同収益判断D.Iが△8.3で同比+6.3ポイントと、ともに改善しました。雇用面では、人手過不足判断D.Iが△18.8で前期比△0.3ポイントの低下となり、人手不足感はわずかに強まりました。

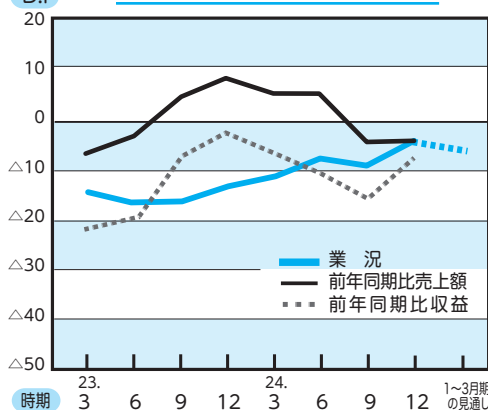
また、前期比残業時間D.Iは△3.6となり、前期と比べて低下しました。借入金の動きでは、「借入した」が前期比△3.6ポイントの低下となりました。

借入難易度については容易と回答した事業者の割合は、前期比横ばいでした。経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が31.9%、「売上の停滞・減少」が28.4%、「原材料高」が26.6%と上位に挙げられました。

また、特別調査の「2025年(令和7年)の経営見通し」について、貴社では、2025年の日本の景気をどのように見通していますかとの質問に対し、やや悪いと回答した事業者が43.7%と最も多い結果となりました。

◎業況判断D.I=「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を差し引いた指標 ◎特別調査の詳細は8~9ページに掲載しています

D.I 全業種総合 主要指標の推移



3ヶ月予報

見通し(1月▶3月期)

## 業況の見通し判断D.Iは△4.4、当期実績比△0.5ポイント低下の見込

来期は、建設業、不動産業で改善を見込んでいます。項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比横ばい、また、収益判断D.Iが同比+3.9ポイントと改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比△10.0ポイントの低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比+0.4ポイント、残業時間判断D.Iについては同比+1.8ポイントと、ともに改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が59.4%、「販路を広げる」が36.2%、「人材を確保する」が23.6%と上位に挙げられました。

### 景況天気図

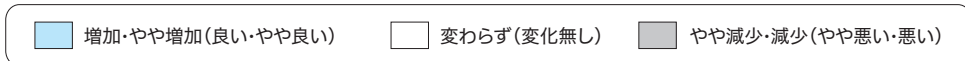
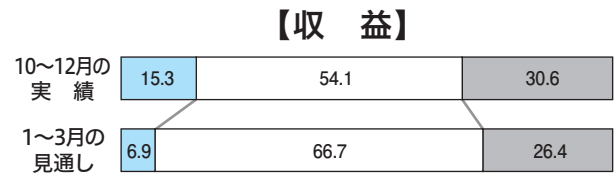
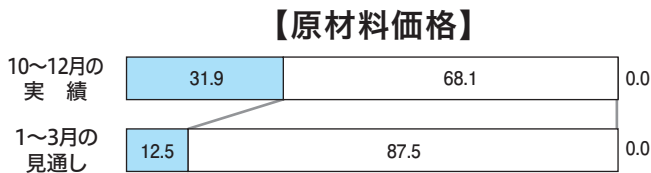
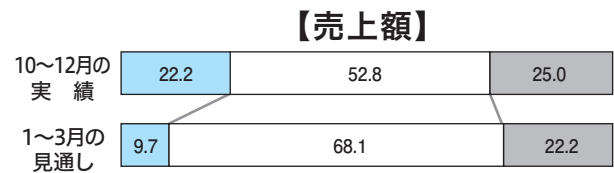
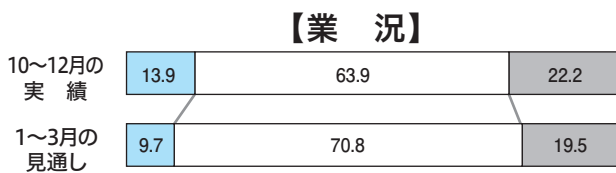
〔この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました〕

業種名	時期	6年7月~9月	6年10月~12月	7年1月~3月 見通し	概	要
総合						業況判断D.Iは、+5.4ポイント改善し△3.9。来期は、△0.5ポイント低下し△4.4の見通し。
製造業						業況判断D.Iは、+4.4ポイント改善し△8.3。来期は、△1.5ポイント低下し△9.8の見通し。
卸売業						業況判断D.Iは、+16.1ポイント改善し0.0。来期は、△3.2ポイント低下し△3.2の見通し。
小売業						業況判断D.Iは、+2.8ポイント改善し△12.2。来期は、横ばいの△12.2の見通し。
サービス業						業況判断D.Iは、+0.1ポイント改善し△6.4。来期は、△3.3ポイント低下の△9.7の見通し。
建設業						業況判断D.Iは、+11.0ポイント改善し16.6。来期は、+2.8ポイント改善し19.4の見通し。
不動産業						業況判断D.Iは、△5.6ポイント低下し△11.1。来期は、+5.5ポイント改善し△5.6の見通し。

好調 ← → 低調 / 業況改善 業況悪化 業況変化なし

■ 製造業

回答企業数72企業(回答率100%)



景況天気図



概況(10月▶12月期) 業況判断D.Iは△8.3、前期比+4.4%の改善

項目別では、売上額判断D.Iが△2.8と前期比+7.1%、収益判断D.Iが△15.3と同比+5.8%と、ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△12.6で前期比△2.7%の低下、同収益判断D.Iが△22.2で同比+1.7%の改善となりました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△13.9と前期比+0.2%の改善となり、人手不足感はわずかに緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは△6.9、前期比+0.2%の改善となりました。

借入金の動きでは、「借入した」が9.7%（前期14.1%）、「予定あり」が9.7%（同11.3%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は8.3%（前期8.5%）となりました。

経営上の問題点では、「原材料高」が47.2%、「売上の停滞・減少」が33.3%、「同業者間の競争激化」が30.6%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報



見通し(1月▶3月期)

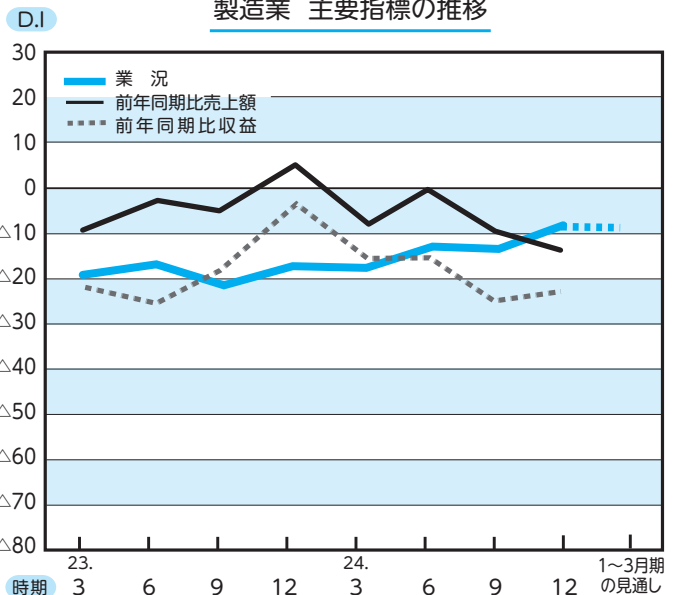
業況の見通し判断D.Iは△9.8、当期実績比△1.5%低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比△9.7%、収益判断D.Iが同比△4.2%となり、ともに低下を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比△12.4%と、低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比△1.4%と低下の見通しですが、残業時間判断D.Iは同比+4.1%で改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が69.4%、「販路を広げる」が45.8%、「人材を確保する」が27.8%と上位に挙げられました。

製造業 主要指標の推移



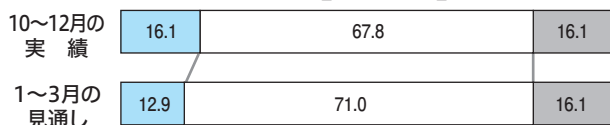
調査員のコメントから

- 桐工芸品製造。イベント出店依頼が増加、売上高も少しずつ増加が期待できる。インターネットを通じ海外顧客からの注文も受けている。

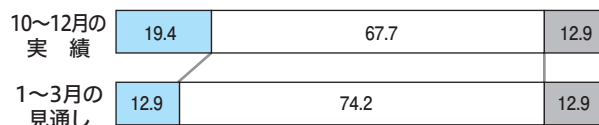
## ■ 卸 売 業

回答企業数31企業(回答率93.9%)

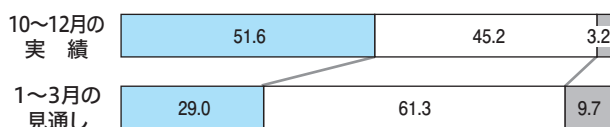
## 【業 況】



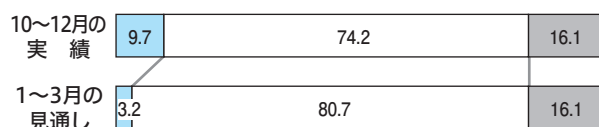
## 【売上額】



## 【仕入価格】



## 【収 益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図



## 概況(10月▶12月期) 業況判断D.Iは0.0、前期比+16.1%の改善

項目別では、売上額判断D.Iが6.5で前期比+29.0%、収益判断D.Iが△6.4%で同比+19.3%と、ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが6.4で前期比+16.0%、同収益判断D.Iが3.2で同比+25.8%と、ともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△19.3で前期比△3.2%の低下となり、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは△3.2で前期比横ばいとなりました。

借入金の動きでは、「借入した」が9.7%（前期16.1%）、「予定あり」が3.2%（同9.7%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は3.2%（前期3.2%）となりました。

経営上の問題点では、「仕入先からの値上要請」が38.7%、「売上の停滞・減少」が35.5%、「同業者間の競争激化」が29.0%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報



## 見通し(1月▶3月期)

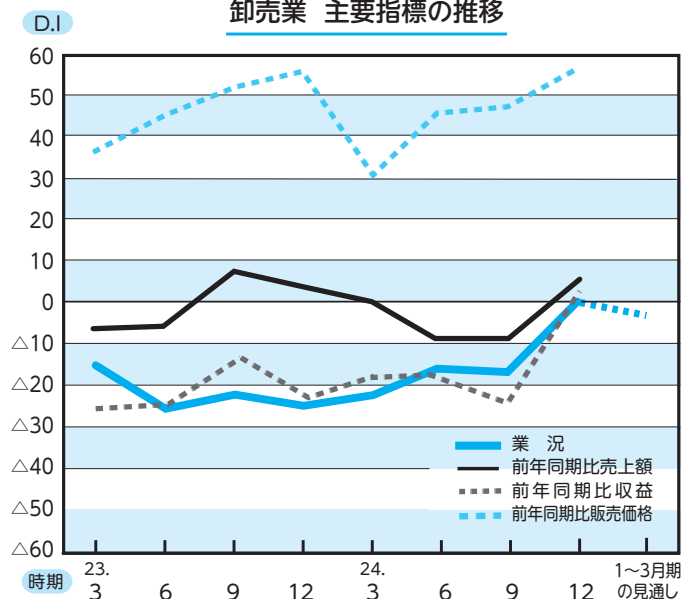
## 業況の見通し判断D.Iは△3.2、当期実績比△3.2%低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比△6.5%、収益判断D.Iが同比△6.5%と、ともに低下を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比△32.3%と、低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比+3.2%、残業時間判断D.Iは同比+3.2%で、ともに改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が61.3%、「経費の節減」が54.8%、「品揃えを充実する」が19.4%と上位に挙げられました。

## 卸売業 主要指標の推移



## 調査員のコメントから

- 工作用品卸売。プラモデル等の需要が高く売上は安定しているが、物価高騰による販管費の増加が不安要素である。

## ■ 小 売 業

回答企業数40企業(回答率97.6%)

### 【業 況】

10~12月の実績	12.2	63.4	24.4
1~3月の見通し	12.2	63.4	24.4

### 【売上額】

10~12月の実績	24.4	56.1	19.5
1~3月の見通し	14.6	73.2	12.2

### 【仕入価格】

10~12月の実績	36.5	63.5	0.0
1~3月の見通し	34.2	65.8	0.0

### 【収 益】

10~12月の実績	12.2	63.4	24.4
1~3月の見通し	9.8	78.0	12.2

■ 増加・やや増加 (良い・やや良い)   □ 変わらず(変化無し)   ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

### 概況(10月▶12月期)

### 業況判断D.Iは△12.2、前期比+2.8ポイントの改善



項目別では、売上額判断D.Iが4.9と前期比+9.9ポイント、収益判断D.Iが△12.2と同比+2.8ポイントとなり、ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△14.7となり前期比+2.8ポイント、同収益判断D.Iが△17.1で同比+0.4ポイントとなり、ともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△19.5と前期比+3.0ポイントの改善となり、人手不足感がやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは△7.3と前期比△7.3ポイントの低下となりました。

借入金の動きでは、「借入した」が7.3%（前期10.0%）、「予定あり」が12.2%（同7.5%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は2.0%（前期5.0%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が34.1%、「同業者間の競争激化」が29.3%、「大型店との競争激化」「利幅の縮小」がともに24.4%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

### 見通し(1月▶3月期)

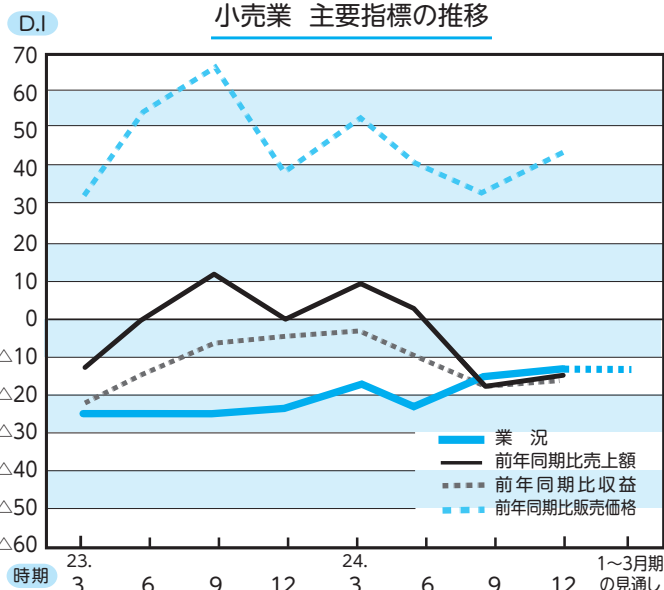
### 業況の見通し判断D.Iは△12.2、当期実績比横ばいの見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比△2.5ポイントの低下、収益判断D.Iが同比+9.8ポイントの改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比△2.3ポイントの低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばいの見通しですが、残業時間判断D.Iは同比+2.4ポイント改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が68.3%、「品揃えを改善する」が29.3%、「宣伝・広告の強化」が19.5%と上位に挙げられました。

### 小売業 主要指標の推移



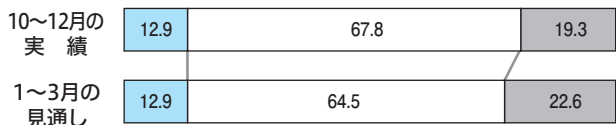
### 調査員のコメントから

- タイヤ販売業。近隣企業との信頼関係が構築されており、現状程度の売上高は確保される見通し。冬季はスタッドレスタイヤの受注が増加する。

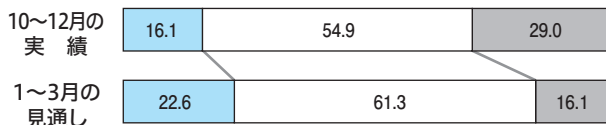
■ サービス業

回答企業数31企業(回答率100%)

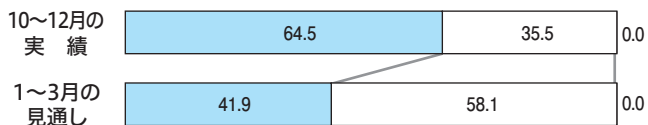
【業況】



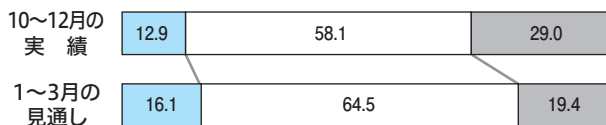
【売上額】



【材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(10月▶12月期)

業況判断D.Iは△6.4、前期比+0.1%の改善

項目別では、売上額判断D.Iが△12.9と前期比△3.3%の低下、収益判断D.Iが△16.1と同比+3.2%の改善となりました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△12.9となり前期比△12.9%、同収益判断D.Iが△16.1で同比横ばいとなりました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△22.6と前期比横ばいとなり、人手不足感は変わっておりません。また、前期比残業時間D.Iは△3.2と前期比△3.3%低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が12.9%（前期19.4%）、「予定あり」が9.7%（同6.5%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は6.5%（前期0.0%）となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が41.9%、「材料価格の上昇」が32.3%、「人手不足」が22.6%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(1月▶3月期)

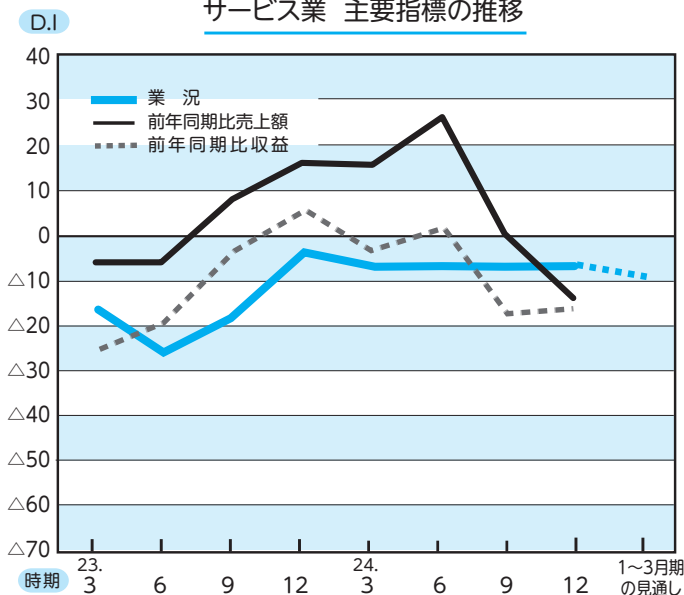
業況の見通し判断D.Iは△9.7、当期実績比△3.3%低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比+19.4%、収益判断D.Iが同比+12.8%と、ともに改善を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比△22.6%の低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばいの見通しですが、残業時間判断D.Iは同比+3.3%改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」「販路を広げる」がともに41.9%、「広告・宣伝の強化」が19.4%と上位に挙げられました。

サービス業 主要指標の推移



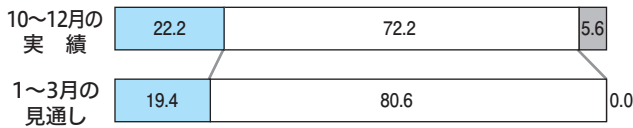
調査員のコメントから

- ビルメンテナンス業。官公庁や病院、ホテル等からの受注状況が良好であり、今後も堅調な業況推移を見込んでいる。

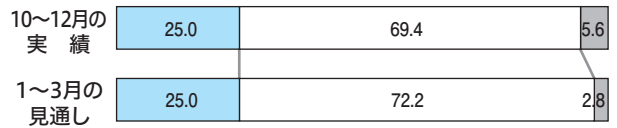
■ 建設業

回答企業36企業(回答率100%)

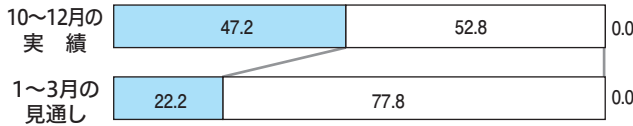
【業況】



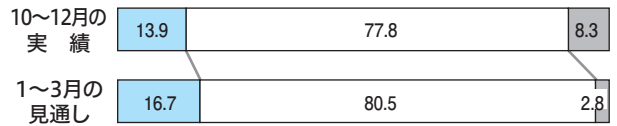
【売上額】



【材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図



概況(10月▶12月期)

業況判断D.Iは16.6、前期比+11.0%の改善

項目別では、売上額判断D.Iが19.4と前期比+16.6%、受注残判断D.Iは13.8と同比+13.8%と、ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが30.6で前期比+8.5%、同収益判断D.Iが22.2で同比+11.0%となり、ともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△25.0と前期比△2.8%の低下となり、人手不足感が強まりました。前期比残業時間D.Iは8.3と前期比+2.7%の改善となりました。

借入金の動きでは、「借入した」が16.7%(前期16.7%)、「予定あり」が13.9%(同13.9%)を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は8.3%(前期13.9%)となりました。

経営上の問題点では、「材料価格の上昇」が47.2%、「人手不足」が33.3%、「同業者間の競争激化」が30.6%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報



見通し(1月▶3月期)

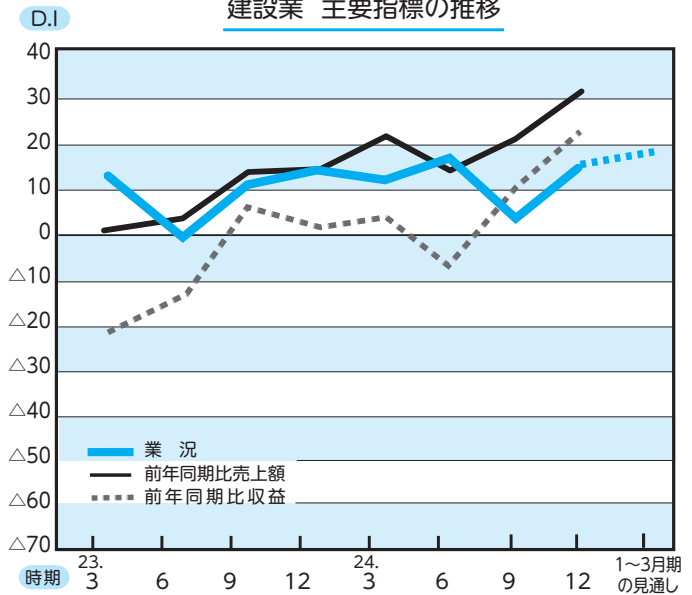
業況の見通し判断D.Iは19.4、当期実績比+2.8%改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比+2.8%、収益判断D.Iが同比+8.3%と、ともに改善を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比△25.0%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばいの見通しですが、残業時間判断D.Iは同比△5.5%低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が69.4%、「人材を確保する」が44.4%、「販路を広げる」が30.6%と上位に挙げられました。

建設業 主要指標の推移



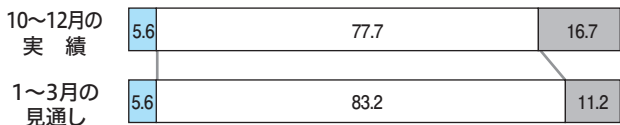
調査員のコメントから

- リフォーム工事は増加傾向にあるが、新築物件の工事は伸び悩む。
- 物価高騰による収益の悪化が懸念材料。

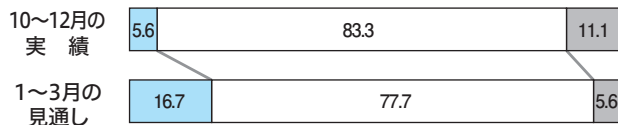
■ 不動産業

回答企業数18企業(回答率100%)

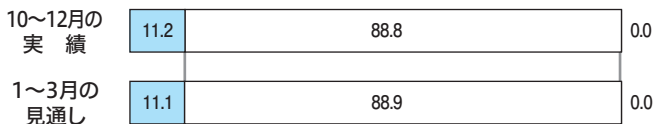
【業況】



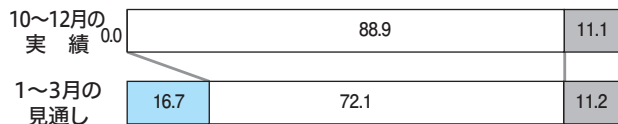
【売上額】



【仕入価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(10月▶12月期)

業況判断D.Iは△11.1、前期比△5.6%の低下



項目別では、売上額判断D.Iが△5.5となり前期比+0.1%の改善、収益判断D.Iが△11.1となり同比△5.5%低下となりました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△11.1となり前期比△11.1%の低下、同収益判断D.Iは0.0で前期比+5.5%改善となりました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△16.7と前期比横ばいとなり、人手不足感は変わっておりません。また、前期比残業時間D.Iは△5.6で前期比+11.1%の改善となりました。

借入金の動きでは、「借入した」が11.1% (前期11.1%)、「予定あり」が11.1% (同11.1%) を示しています。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が33.3%、「商品物件の不足」が22.2%、「売上の停滞・減少」「人手不足」「大手企業との競争激化」「代金回収の悪化」が16.7%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(1月▶3月期)

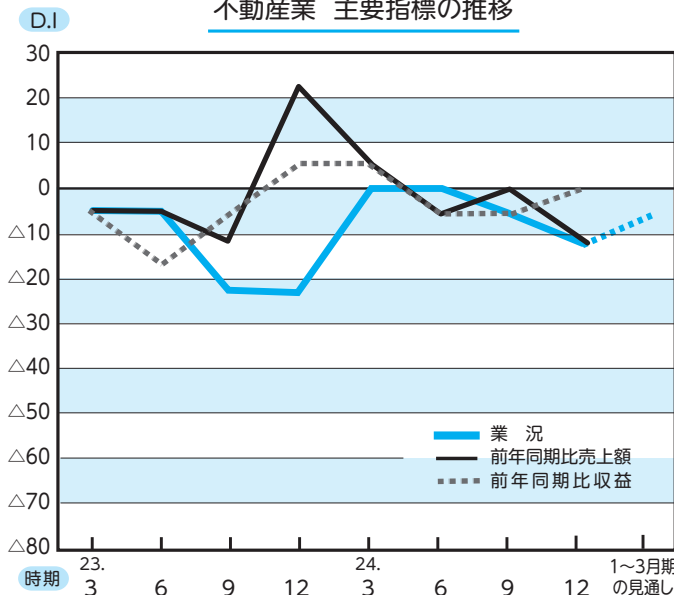
業況の見通し判断D.Iは△5.6、当期実績比+5.5%改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比+16.6%、収益判断D.Iが同比+16.6%と、ともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比+11.2%の改善を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比+5.6%改善、残業時間判断D.Iが同比横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「情報力の強化」が50.0%、「宣伝・広告の強化」が44.4%、「販路を広げる」が38.9%と上位に挙げられました。

不動産業 主要指標の推移



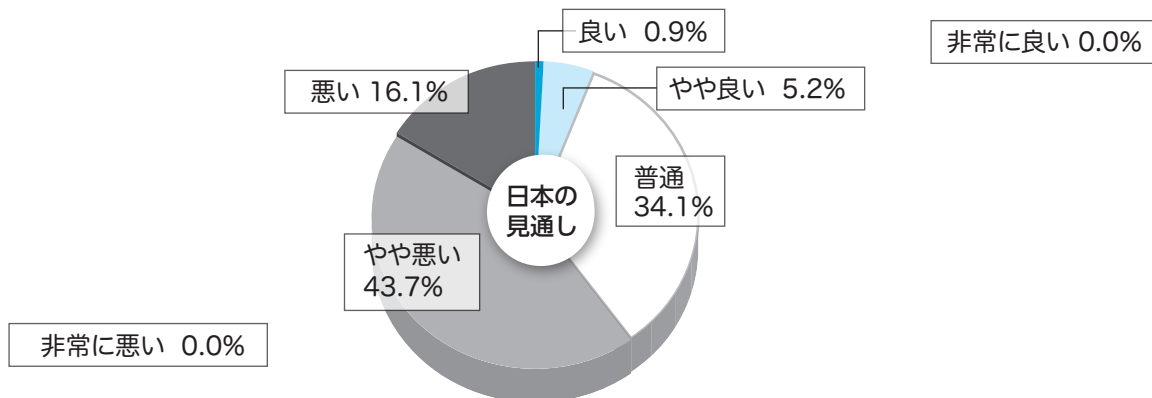
調査員のコメントから

- 地価等に大きな変動はないものの、マンション価格が増加傾向にて推移している。
- 仲介がメインであり、短期間で業況が上向くのは難しい。

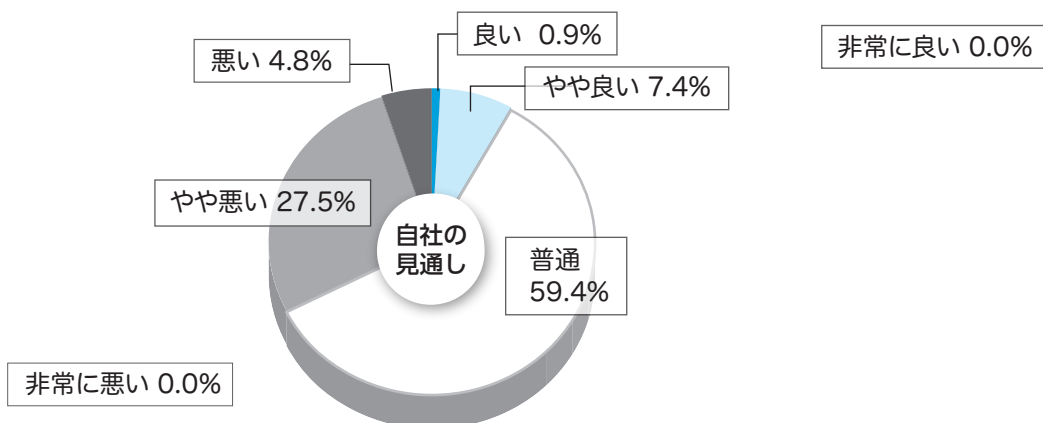
特別  
調査

## 2025年(令和7年)の経営見通し

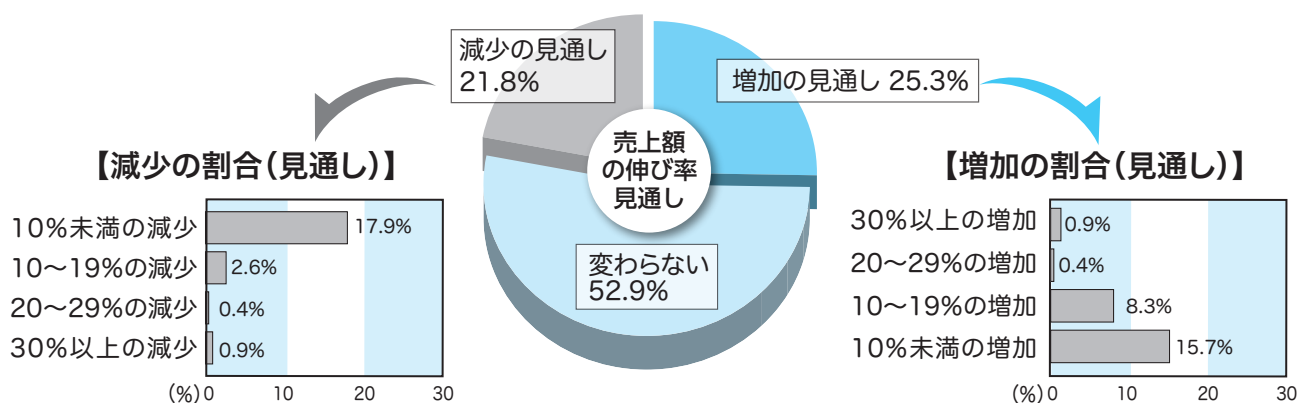
**問1** 貴社では、2025年の日本の景気をどのように見通していますか。



**問2** 貴社では、2025年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。



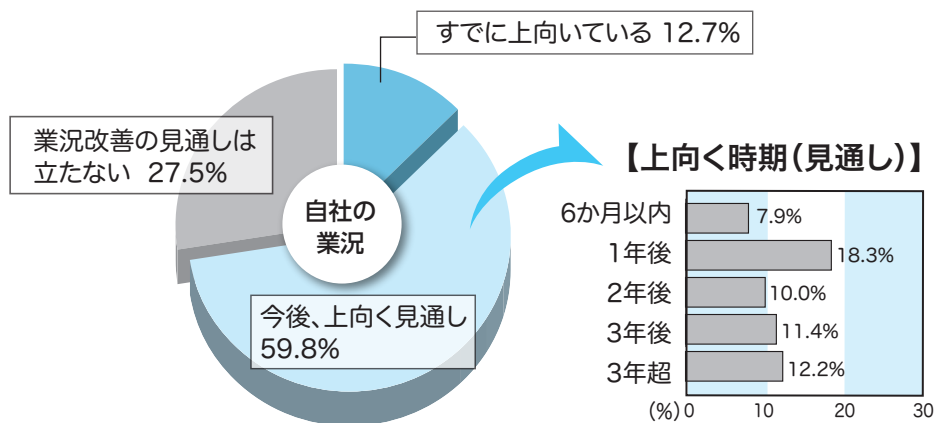
**問3** 2025年において貴社の売上額の伸び率は、2024年に比べておおよどのくらいになると見通していますか。





問4

貴社では、自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。

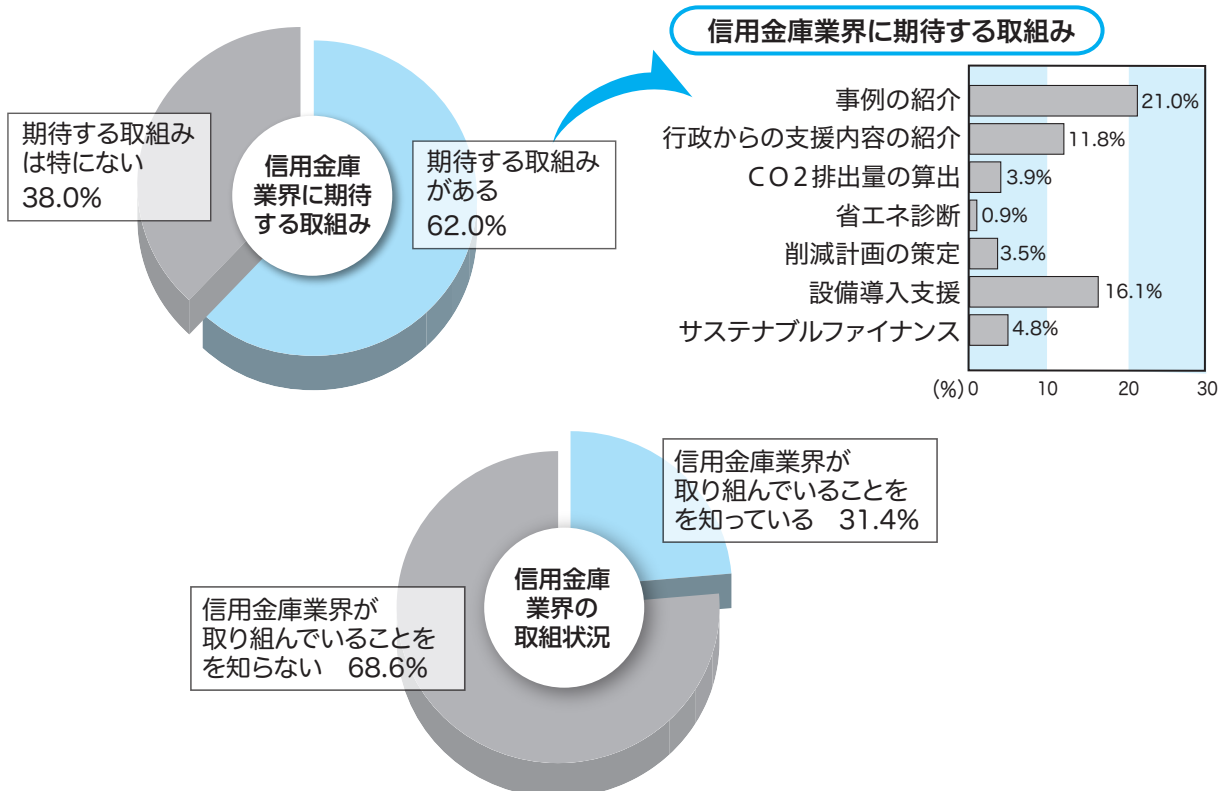


問5

脱炭素化への取組（具体的な例は下の枠の中に記載）についてお伺いします。貴社は、脱炭素化に向けて、信用金庫業界に対して期待する取組はありますか。また、貴社は、信用金庫業界が地域のために積極的に下の枠の取組を行っていることを知っていますか。

〈 脱炭素化に向けた取組みの事例 〉

- 情報提供：コスト削減事例の紹介、行政からの支援内容の紹介
- 現状把握：CO2排出量の算出サービスの紹介
- 計画策定：省エネ診断の紹介、CO2排出量削減計画の策定支援
- 対策実行：LED・高効率空調・太陽光発電の導入支援
- 資金供給：サステナブルファイナンス（SDGs・脱炭素化対応融資）



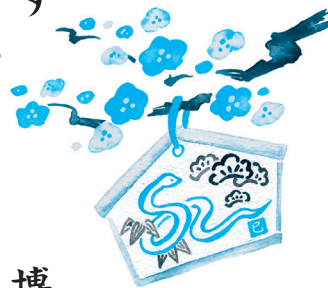
## 明けましておめでとうございます

令和7年の初春を迎え、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。  
旧年中は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。  
今後とも地域社会の繁栄に向けて役職員心を一つにして  
精進してまいる所存でございます。

本年も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結城信用金庫

理事長 石塚 清博



## 提携事業所にお勤めのみなさまへ

QRコードを読み取っていただくと結城信用金庫のホームページにアクセスできます。



# 職域サポート契約制度

### 職域サポート契約制度とは？

当金庫と職域サポート契約制度を締結いただいている提携事業所にお勤めの皆様全員が対象となり、各種ローンをご利用される場合、特別金利でご利用いただける制度です。

提携事業所は、次のいずれの要件も満たすものとします。

- ①当金庫営業区域内で事業を営んでいる法人・個人事業所（従業員数5名以上）であること。
- ②手形交換所または電子債権記録機関の取引停止処分のないこと。
- ③当金庫との取引の有無は問いません。（当金庫営業区域内の地方公共団体等）

### ご利用いただける方

（右記の条件をすべて満たされる方）

- 契約先の代表者、役員または従業員の方
- 申込時の年齢が20歳以上の方
- 保証会社の保証が得られる方

下記の  
ローン商品の金利を  
店頭表示金利から

**年1.50%**  
引き下げます。

※ただし、他の金利引き下げ適用との重複はできません。

### 職域サポート契約制度の対象ローン（一社）しんきん保証基金6商品

#### 一般個人ローン

ご融資金額 500万円以内

ご利用期間 10年以内

#### ブライダルローン

ご融資金額 500万円以内

ご利用期間 10年以内

#### カーライフプラン

ご融資金額 1,000万円以内

ご利用期間 15年以内

#### 教育プラン

ご融資金額 1,000万円以内

ご利用期間 16年以内

#### 子育て応援プラン

ご融資金額 100万円以内

ご利用期間 10年以内

#### リフォームプラン

ご融資金額 1,000万円以内

ご利用期間 15年以内

商品の詳しい内容につきましては、お近くの窓口またはホームページにてご確認ください。

※上記ローンにつきましては、事前に審査があり、審査結果によってはご希望に添えない場合がございます。

※勤務先を通じてお申込みする必要はありません。直接当金庫の担当者へご連絡ください。

また、お申込みおよびお申込み内容等は個人情報ですので、勤務先へお知らせすることは一切ございません。

### — 後 記 —

ユーシン景気動向調査に、ご理解とご協力を頂きまして、厚くお礼申し上げます。

皆さまのご意見、ご希望をどしどしお寄せください。

結城信用金庫営業統括部

〒307-8601 結城市大字結城557番地  
TEL (0296) 32-2110 FAX (0296) 33-0414  
<https://www.shinkin.co.jp/yuki/>